

市民自治部	部長	参事	主幹	課長補佐	主査	主任	報告者
市民自治推進課 議事要旨							
件名	第9回辻堂市民センター・公民館建設検討委員会						
日時	2016年03月16日(水) 15時30分から16時40分						
場所	辻堂市民センター第三談話室						
出席者	出席者名簿のとおり。						

注) 議事録中、(A)～(E)は地域選出の委員、(委員長)は松本委員長、(市部長)は市民自治部部長、(市課長)は市民自治部課長、(市自)は市民自治推進課、(センター)は辻堂市民センター、(センター長)は辻堂市民センター長、(生涯)は生涯学習総務課、(図書)は総合市民図書館、(福祉)は福祉総務課、(高齢)は高齢者支援課、(教育)は教育総務課、(消防)は消防総務課、(八千代)は八千代エンジニアリング。

#### 【提出資料】

- (1) 辻堂市民センター等再整備基本構想
- (2) 辻堂市民センター等再整備概要版
- (3) 時刻日影図
- (4) 等時間日影図
- (5) 計画案 パース

#### 【受領資料】

- (1) 第9回辻堂市民センター建設検討委員会 次第
- (2) 辻堂市民センター基本構想説明会 開催結果
- (3) 陳情27第38号 辻堂市民センター等再整備計画についての陳情
- (4) 平成28年2月市議会定例会 総務常任委員会での報告・陳情の結果について

## 1. 委員長からの挨拶

(委員長)・まず渡辺部長の方からご挨拶いただきたいと思います。

(市部長)・皆様にご協力いただき、基本構想としてまとめられたことをお礼申し上げます。これで終了ではなく、来年度から基本設計となり、実際に図面を引いていく作業となります。100人全ての人の意見を取り入れることはできないが、折り合いをつけ出来る限り多くの人の意見を取り入れられるようにすることが大事な点だと考えている。良い施設とするために今後も皆様のご意見を頂き、今後の基本設計及び実施設計も行っていきたい。

### 前回打合せ議事録の確認

## 2. 協議内容について

### (1) 辻堂市民センター等再整備基本構想について

以下市民自治推進課から説明

#### ■辻堂市民センター等再整備基本構想・概要版・パース・日影図

(市自)・基本構想については、前回提示した基本構想からの大きな変更点のみを説明する。8,9ページについては、前回頂いた意見をもとに8ページに3つのコンセプトを記載し、9ページに詳細な内容を記載するよう修正を行った。10ページの新施設の概要には工作室兼市民アトリエを挿入した。また、11ページには日影を考慮し北側が段々となっていることが分かるようにパースを挿入した。

(市自)・パースに関しては、先入観を与えないように図の変更や削除を検討する。

- (市自) ・概要版については、基本構想の内容を簡潔にまとめたものとなっている。
- (市自) ・パースは木の本数を忠実に再現すると建物が隠れてしまうため、木の本数は少な目に表現している。
- (市自) ・日影図作成にあたる条件は「冬至の8時から16時まで、高さ4mの位置における影」となっています。これを2月20日の市民説明会にて掲示いたしました。
- (センター) ・法規制は守っている。しかし等時間日影図では2時間、3時間のラインは地表面から高さ4mの位置におけるラインであるため、北側の団地の1階には2時間、3時間の影が落ちるため、誤解のないよう各自説明する際の言葉にはご注意ください。

## (2) 地域説明会の開催結果について

以下センターから説明。その際にあった意見・質問を振り返った。

- (センター) ・2月20日の説明会にていただいたご意見をまとめたものをご説明する。
- (センター) ・不信感がある、近隣住民に十分な説明を行ってほしいというご意見を頂いたが、基本的には今後の基本設計を行っていく中で説明させていただくとご回答した。
- (センター) ・なぜこの地に消防署を併設するのか、またテニスコートを校庭内に設けてはどうかという質問・意見に対しては、テニスコートは学校と協議し校庭内に1面設けることとした、津波の高さは1~30cm程度であるため、消防活動上影響はないと回答した。
- (センター) ・いつ次の説明会を開催できるかはこの場では即答できないが、基本設計を行っていく中で説明を行っていく。またその際には事前に説明を行う。

## (3) 平成28年2月市議会定例会総務常任委員会の結果について

以下市民自治推進課から説明。提示いただいた陳情の説明及び議会にて討議された内容を説明した。

- (市自) ・村山様から議会に対して陳情をいただいた。大きく分け4つポイントは以下のとおり。
1. 再整備に当たり小中学校の児童及び生徒の安全な通学ができ、静寂で健全な学校生活が送れるような機能配置としてほしい。
  2. 中学校からテニスコートを見渡せるように配慮し、学生の安全を最優先としたテニスコートの配置としてほしい。
  3. 基本設計の初期に、様々な年齢層の住民が参加できるような参加型のワークショップを開き、市民から広く意見をいただくよう働きかけていただきたい。
  4. 本計画にて統合される諸機能を、現在の市民センター敷地を含む他の敷地に移動できない場合は、市民が納得できるような理由をご説明頂きたい。

(市自) ・この陳情に対する市から説明させていただいた。上記4点に対する回答は以下のとおり。

1. 1に対して、消防の前に10mの空地を設けており、さらに訓練の積んだ消防隊員が誘導するため、十分に安全を考慮できる。また、サイレンの音量については法の範囲内で調整する。
  2. 2に対して、生徒が活動するテニスコート場に教員が付き添っていくことで、生徒の安全性を確保する。
  3. 3に対して、これまでも建設検討委員会の中で、地域団体や近隣代表の方の意見を取り入れ、住民説明会にて皆様のご意見を頂いていた。
  4. 4に対して、計画地以外には土地がないため、現在の市民センターの土地しか考えられませんが、そうすると複合化ができない。また消防署を現在の市民センターの跡地に建設する場合は市民センターが解体された後の工事となるため、より一層建設が遅くなる。
- (市自) ・この陳情を議員がどのように受け取るのか決をとったところ、本陳情の内容の主旨は了承できないという判断となった。

#### (4) 各委員から

##### 以下各委員から発言

- (A) ・地震が起きたときに、辻堂等は津波の影響を受ける。新しい市民センターは災害時に対する対応を集中的に行うことができる施設であるということを謳ってほしい。消防署が併設されるということは津波に対する一つの対応策である、東日本大震災の際に起きたことを踏まえ、基本計画の時点から、災害に対して十分に配慮しているということが伝わる文章を残していただきたいと思う。
- (C) ・住民説明会で発言された意見をまとめると、これは、「今後の説明によって納得いただくしかないもの」と「今後耳を傾ける必要があるもの」の大きく二つに大別できる。前者に対しては、機会を設け説明を行うことでご理解いただき、後者に対しては、基本設計・実施設計へと進む際に、聞くべき意見の一つとして真摯に受け止める必要があるかと思う。
- (E) ・上がってきた声に対しては、きちんと説明を行って理解を深めていく機会を設けることが大切だと思う。完成まで様々なことがあると思うが、100%以上の協力を今後もしていきたいと思っておりますので、良い計画をしていただければと思う。
- (D) ・不信感があるという意見を頂いた。市民からの意見を吸い上げて聞くという場を複数回設けることが必要ではないかと思う。小さな機会だとしても意見を交換する場を設け、理解を深めていければと思う。

#### (5) 今後の建設検討委員会について

##### 以下センターから説明

- (委員長) ・住民の方々にご理解していただけるようにできる限り早い時期に説明会を行いたいと思っている。その際には皆様にご協力いただきたい。
- (市課長) ・いただいた意見に関しては真摯に受け止め、皆様からいただいた意見を汲み取り、不信感を取りのぞけるように努力していきたい。引き続き皆様にはご協力いただければと思う。
- (センター) ・4月以降にはそれぞれのグループに対しては分科会のような形式で、各分野の人々と意見交換を行うことを検討する。皆様には引き続きご協力いただきたいと思う。

#### ■閉会

- (八千代) ・昨年の8月から7ヵ月皆様のご協力いただき、基本構想をまとめることができたと思う。今後の基本設計・実施設計に向けて、藤沢市からご指定頂けるように努力してまいります。願わくは、皆様とともにご検討させていただければと思います。短い間でしたが、大変お世話になりました。
- (センター長) ・今後とも委員の方々にはご尽力いただくかと思う。宜しくお願い申し上げます。

以上

2016.03.16 第9回建設検討委員会 出席者名簿

柏崎 (市民自治推進課)			鈴木 (市民センター)	田淵 (市民センター)
林 (市民自治推進課)	渡辺 (市民自治推進課)	松本 (建設検討委員長)	山口 (市民センター長)	
塩原 (生涯学習総務課)				山下 (市民センター)
守屋 (総合市民図書館)				関岡 (まちづくり会議)
齋藤 (福祉総務課)				
				野中 (地区社協)
米山 (市消防総務課)				松原 (近隣町内会)
佐藤 (教育総務課)	田中 (八千代エンジニアリング)	山下 (八千代エンジニアリング)	北見 (八千代エンジニアリング)	金子 (公民館評議員)